

ニーズ・シーズのマッチング状況

■ ニーズ・シーズのマッチング支援のあり方

- 今後のニーズとシーズのマッチングについて、意欲のある団体や新規に参画する団体が限られている中、スマートシティやPLATEAUの効果的なマッチングについて、どのように支援していくべきか。

(例) ニーズ・シーズのマッチングに向けたイベントを検討するとともに、潜在的なニーズが顕在化するような仕掛けや、ニーズシートの記載方法の見直しを検討すべきではないか。

- スマートシティの効果を最大化するにあたり、複数都市の広域連携が望ましいと考えられるが、どのように推進していくべきか。

(例) 県を中心としたスマートシティの体制構築に向けて、官民連携プラットフォーム等も活用しながら働きかけていくべきではないか。

- PLATEAUコンソーシアム内のマッチング促進に向けて、次年度も同様の開催体制を維持すべきか。

(例) 自治体マッチングにおける「ユースケース紹介型」の開催形式では単なる情報共有にとどまってしまうのではないか。自治体におけるPLATEAU整備検討の加速にどれほど貢献しているか。